

平成30年美濃加茂市議会第1回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質 問 要 旨
1	森弓子 新生会 代表質問 (一問一答)	<p>1 市長の政治姿勢と政策について</p> <p>① 積極的な企業誘致</p> <p>I 信友天神洞地区への企業誘致</p> <p>II 新たな企業団地の考えは</p> <p>III オフィス型の企業の誘致と優遇策案は</p> <p>② 交流の拠点となるべき市庁舎（みのかもみらいのコンセプトブックから）</p> <p>I 分散型の市役所、みんなのまあるいまちづくりひろばとは</p> <p>II 美濃太田駅周辺の空きビル調査は</p> <p>III 大手町公園の有効的利用</p> <p>IV アメリカオレゴン州ポートランド市への思い</p> <p>V コンパクトエリア周辺地区のあい愛バス</p> <p>③ 女性の活躍を応援する政策推進</p> <p>I カミーノ関連</p> <p>II 働きながら子育てできる環境づくり</p> <p>III 女性が働く現場を見たいという意図は</p> <p>④ 美濃加茂メディカルシティ及び総合医療センターについての見解</p> <p>I 市長としての見解、売却後の連携は</p> <p>⑤ 開かれた市政のアピールと独自色は</p> <p>I 市長室の開放とは</p> <p>II 伊藤新市長カラーへの期待に対しての抱負</p> <p>2 ふるさと納税額増に向けて</p> <p>① 平成29年度の金額と納税地域、リピーターは</p> <p>② 市内企業への返礼品金額（応援の在り方）</p> <p>3 QRコードの利用拡大について</p> <p>① 申込が必要な案内チラシへの利用</p> <p>② 外国人あて郵便物への表示</p>
2	坂井知足 創政会 代表質問 (一問一答)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市長選をふり返っての感想 美濃加茂市長選挙は、1月21日に告示され28日に投票が行われた。この選挙戦をふり返っての思いや感想といったものは</p> <p>② 市長就任の感想と抱負 市長に就任されまだ1ヶ月足らずであるが、市長となられた感想と抱負等について</p> <p>③ 副市長の選任と二人制の導入 副市長の選任の時期と考えについて、また、副市長の二人制の導入と国・県からの人事について</p> <p>2 「壹々、美濃加茂。」のまちづくりについて</p> <p>① 「活力」あるまちづくり</p> <p>I 企業誘致への取り組み 市の活力の源は産業の活性化である。伊藤市長の立候補に当たってのマニフェストで「世界を変えるような企業の誘致」を謳われているが、具体的な取り組みは。</p> <p>II 前平公園の整備とネーミングライツの活用 活力の一つに「私たちの身近にもっとスポーツ」があり、前平公園のリニューアルが言われているが、その具体的内容と民間活力の活用によるネーミングライツに対する考え</p> <p>② 「安心」なまちづくり</p> <p>I 医療福祉の充実 メディカルシティ構想、元気な体をつくる健康ステーションなどが掲げられているが、具体的な取り組みについて</p> <p>II 災害に強いまちづくり 南海トラフ地震が心配される中、地震災害を始め災害に強いまちづくりへの対策について</p> <p>③ 「教育」の充実したまちづくり</p> <p>I 語学教育の推進 世界で活躍できる語学教育の推進の具体的な施策の推進と、本市の小学校における英語教育の推進について</p> <p>④ 「交流」の盛んなまちづくり</p> <p>I 若者たちとの交流 各地での若者委員会の設置計画と、東京における「美濃加茂市出身者の会」の設置について</p> <p>3 新年度予算編成について</p> <p>① 市税収入の現状と今後の収入見通し 市税収入額の減額計上の理由と今後の収入の見通しについて（新築家屋の推移等）</p>

No.	議員名	質 問 要 旨		
2	坂井知足 続き	② 市債の活用への考え 市債の有効活用による住みよいまちづくりに対する考えは		
		③ 国民健康保険会計への対応 平成30年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が岐阜県に移行されることになっている。国保会計における当初予算の大幅な減額理由と保険料の賦課基準の変更について		
		④ 決算審査意見書の反映 平成28年度決算審査結果の報告で監査委員から「市税を始めその他自主財源に未納者が多く見受けられる」と指摘され、その対策が求められていることについて		
		4 第6次総合計画の策定について		
		① 市政100年に向けたまちづくり(都市像) 市政100周年に向けたまちづくり、美濃加茂市の望ましい都市像について		
		② 策定スケジュール 2年後にスタートする総合計画のスケジュール(審議会設立、意識調査、広聴会、諮問等)について		
		③ 人口増加施策の推進 全国的に人口減少傾向が続く中、本市の人口増加施策の推進について		
		④ 推進体制の確立等 総合計画策定に当たりの市内の推進体制(課・係等)の確立について		
		5 新市庁舎の建設について		
		① 今後のスケジュールについて 今年1月に新庁舎整備基本構想について、策定委員会から答申があったところであるが、今後の建設に向けてのスケジュールについて		
		② 財政計画の策定と建設基金の活用について 今年度、基本計画策定が予算計上されているが、財政計画はいつ具体化されるのか、また、建設基金積立に対する考え方は		
		6 農業の振興について		
		① 集落営農法人の設立 本市農業の担い手不足と高齢化に対応する、集落営農法人の現状と今後の設立に向けた取り組みについて		
		② 農地利用最適化推進委員の職務 農業委員会等に関する法律の改正により、農地利用最適化推進委員が新設され、13名の委員が任命されている。委員の職務と今後の活動について		
		7 小中学校規模の適正化について		
		① 小規模特認校制度の活用 小規模特認校である三和小、伊深小の現状と今後の児童数の見通しについて		
		② 中学校の通学区域の見直し(決定) 学校規模の適正化を目指して、西中学校、東中学校の通学区域の見直し(経過措置)が終了し、双葉中学校は平成30年度をもって終了する。その成果と今後について		
		3	山田栄 真摯会 代表質問 (一問一答)	1 市長選について
				① 投票率に対する所見を
				2 人事について
				① 副市長人事の考え
② 女性登用について				
3 カミーノについて				
① 出生について(500人の目標) 0才児から毎年500人をどう育てるかの計画を考えているのか。保育士確保、施設の確保、働き場の確保についての考えは				
4 スポーツ施設について 前平公園周辺の整備計画について				
5 地域連携について				
① 定住圏の今後について				
② 東海環状道路東回りルート of 今後について				
6 総合計画について				
① 第6次総合計画(平成32年度より)への取り組み方について(新庁舎についても聞く)				
4	日置祥子 日本共産党 美濃加茂 市議団 代表質問 (一問一答)	1 市長の政治姿勢について		
		① 今までの4年間の混乱を克服するための具体策は		
		② 巷の「伊藤市長は4年間だけ」という発言に対する見解は		
		③ 市政運営で一番大切にされることは		
		④ 憲法・地方自治法遵守という大原則に対する見解は		
		2 国民健康保険について		
		① 財政圧迫は国の責任や役割が重い、市の対応についての見解は		
		② 県の「財政運営の主体」によって被保険者に与える影響は		
		③ 国民保険料の算定方式が3方式に代わるが、被保険者への影響は		

No.	議員名	質 問 要 旨
4	日置祥子 続き	<p>④ 均等割は子育て支援に逆行しないか</p> <p>3 介護保険制度について</p> <p>① 平成27年度、28年度介護給付費見積もりの見込み違いについて、十分な検討がなされたのか</p> <p>② 第7期計画での基準額の引き上げの根拠は</p> <p>③ 介護給付費準備金を積み増しする理由は</p> <p>④ 第6期計画の特別養護老人ホーム建設は</p> <p>⑤ 要介護1・2 要支援1・2の今後の見直し計画は</p> <p>4 子育て支援・子どもの貧困対策について</p> <p>① 就学援助制度</p> <p>I 中学生の新入学生徒学用品費等の支給を12月までにできないか</p> <p>II 準要保護の対象拡大は</p> <p>② 高校生までの医療費無料化</p> <p>I 未就学児医療費に対する無料化のペナルティは（平成26、27、28年度の状況）</p> <p>II 高校生まで拡大した場合の所要額は</p> <p>③ 学校給食</p> <p>I 完全無料化ができないならば、市としてできる補助は</p> <p>II 第3子以降を無料化とした場合に、いくらの負担増になるのか</p> <p>④ 学童保育待機児童</p> <p>I 市内10カ所の放課後児童クラブの定員数、受入数、待機者数は</p> <p>II 今後の対策と見通しは</p> <p>5 未来の人材育成事業について</p> <p>① 事業の目的は</p> <p>② 応募者数、選考基準は</p> <p>③ この企画のどこに「美濃加茂市をけん引できる若者の育成」に優れていると判断されたのか</p> <p>④ ツアーの安全性の判断基準は</p> <p>⑤ 個人の私的な生き方の問題に市税を使う意義は</p>
5	村瀬正樹 新生会 (一問一答)	<p>1 教育環境の整備について</p> <p>① 35人学級の4学年までの拡大について</p> <p>I 学級編成人数についての国の基準と本市の現状は</p> <p>II 県独自の35人学級拡大のねらいとその効果は</p> <p>III 4学年から40人学級になることのマイナスについて</p> <p>ア 児童の発達段階から</p> <p>イ 教師の仕事量から</p> <p>ウ 教室環境から</p> <p>エ 1人1人をていねいに指導することから</p> <p>IV 4学年まで拡大することの是非と問題点は</p> <p>ア 教室数の余裕</p> <p>イ 担任教師の手配</p> <p>② 図書室、会議室のエアコン設置についての考えは</p> <p>③ 情報教育の充実、とりわけタブレット端末や電子黒板の台数を増やすことについて</p> <p>I 小規模特認校と他の小中学校の現状と今後の計画</p> <p>II 機器、機種選定での留意点は</p> <p>ア 使い勝手</p> <p>イ 故障の有無</p> <p>ウ 寿命、更新期間</p> <p>III 情報教育機器偏重の弊害はないか</p> <p>2 道路わきのごみ散乱への対処について</p> <p>① まちを美しくする運動推進委員の活動内容は</p> <p>② 環境美化推進員の活動内容は</p> <p>③ 日常的に市民ができることはないか。また行政としての働きかけは</p>
6	佐合広和 新生会 (一括質疑)	<p>1 改元の問題について</p> <p>① 元号の表記について、影響する各種計画書の種類はどれくらいか、また、表記についての所見は</p> <p>② 公文書の統一性を保つためには、国が統一基準を示すべきと考えるが、国から何らかの指示はあるのか</p> <p>③ 行政システムの誤作動を招く恐れのある昭和100年問題への所見は</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
6	佐合広和 続き	<p>2 大規模災害の対応について</p> <p>① いつ発生するとも知れない大規模自然災害に関し、周辺の市町村に対する後方支援都市構想への所見は</p> <p>3 ネーミングライツについて</p> <p>① 他都市の例にもあるように、財源確保政策の一つとして、ネーミングライツ制度を導入する考えは</p> <p>4 空き家対策事業について</p> <p>① 空き家等対策特別措置法が全面施行されているが、緊急性を伴う事例に関しては、どのように対応されているのか</p> <p>② 特定空き家あるいはこれに準ずる懸案の物件は、何件あるのか</p> <p>③ 行政が自治会と連携し空き家対策を講じている先進地の事例についての所見は</p>
7	牧田秀憲 真摯会 (一問一答)	<p>1 中之島公園について</p> <p>① 公募で決まったリバーポートパークMINOKAMOが4月15日の竣工式を前にして、管理棟並びに周辺の工事は計画通り行えているか</p> <p>② バーベキュー広場など、どのような公園なのか、具体的な内容を</p> <p>③ 地域団体によるイベント等（ソフト事業）を実施してきたが、今後のかかわり方はどのようになるか</p> <p>④ 隣接の森の活用などは、今後どのように考えているか</p> <p>⑤ 市道川合92号線の延伸として、中之島公園北側の国交省の管理道路への合流はどのようになっているか</p> <p>⑥ かわまちづくり事業として、今日まで事業を行ってきたが、今後の展開は</p> <p>2 人事管理について</p> <p>① 正職員・嘱託職員・臨時職員の勤務管理についてどのように把握しているのか</p> <p>3 働き方改革について</p> <p>① 「イクボス宣言」をして1年になるが、育児休暇で女性・男性が育児休暇を活用しやすい環境になっているか</p> <p>② 働く環境の中にフレックスを取り入れているが、各担当課において全員揃う時間帯が限られてくる状況となるが、どのような考えであるか</p> <p>③ 西館のトイレについて、非常に狭く、特に女性の方がほとんど使用してない状況であるが、どのように考えているか</p> <p>④ 職員の意見の中で新庁舎に備えて、今の庁舎でできること、また、チャレンジしたいことなど構想を描くことは大切だと思うが、市の考えは</p>
8	高井厚 新生会 (一問一答)	<p>1 南海トラフ地震を想定した、学校や園の地震防災対応について</p> <p>地震は震度が大きいほど揺れる時間も長く、建物の倒壊や損壊の危険性も増し、生命が危険にさらされる度合いも高くなる。巨大地震への現在の科学的知見は、その地震発生の可能性が相対的に高まっているというもの。「南海トラフ地震に関する情報」の発表前に、巨大地震が突発することも想定しなくてはならない状況下での対応を、以下伺う。</p> <p>① 児童生徒在校中での発生地震は、どのような程度・状況下で引き渡しをするか</p> <p>② その連絡は保護者に伝わらないことも想定できる。次善の対応はどうか</p> <p>③ 引き渡しが確実に保護者や親族に行われるよう、そのチェック体制はどうか</p> <p>④ 児童生徒が登下校中に巨大地震が発生した時の動き方は、どのように子どもたちや保護者に伝えてあるか</p> <p>2 地震災害時の避難所と避難場所について 本市の地域防災計画の資料編には、地震災害履歴も載っている。家屋の倒壊や損壊があれば私たちは避難を余儀なくされる。資料編23ページには、避難場所や避難所が一覧になっている。自助も含め共助、公助を機能させねばならない。</p> <p>① 指定緊急避難場所での指揮は誰がとるのか</p> <p>② 初期対応避難施設の指揮はどうか</p> <p>③ 自治会公民館は住民にとって、最寄りの公的場所。避難所に指定することへの考え方は</p> <p>④ 自治会公民館の耐震状況はどうか把握しているか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
8	高井厚 続き	<p>3 学校教育30年度の方針と指導重点の構築について 平成29年度の成果と課題の整理から、30年度の方針と重点が示された。先生方には教科経営や学級経営、生徒指導や道徳指導の力を伸ばして頂き、明るく元気に児童生徒の前に立って下さることを願い、学校教育の方針と重点について伺う。</p> <p>① 不登校の未然防止で、「自己肯定感の向上」に共感的理解と受容を加えた意図は</p> <p>② 選挙の投票体験学習はどう扱っているか</p> <p>③ いじめの根絶で、「学校いじめ未然防止対策委員会」の評価と改善点は</p> <p>④ 「学校評議員会」の必要性への考えと改善点は。「学校運営協議会」に移行する考えは</p> <p>⑤ 「ほほえみ参観日」の出席率や評判はどうか。保護者以外の出席者はあるか</p> <p>⑥ 勤務後の保護者からの電話相談などへの対応変更への所見は</p> <p>⑦ 「特色ある学校づくり」は、今後どう展開していくのか</p>
9	酒向信幸 創政会 (一問一答)	<p>1 みのかも定住自立圏について</p> <p>① 中心市である本市と近隣町村が役割分担し、連携・協力することにより圏内全体として必要な生活機能等を確保する『定住自立圏構想』を推進、地方圏における定住の受け皿を形成するという意義に対し、市長の本市を含め圏域への思いは</p> <p>② 8市町村が連携し共生ビジョンに位置付ける事業を推進し、特色を活かしながら必要性に応じた事業を実施することなど、人口ビジョンの目標も掲げられているが、今後の事業展開と展望は</p> <p>③ 第1次共生ビジョンを経て、第2次共生ビジョンでは定住自立圏の将来像が掲げているが、今日に至るまでの圏域内の成果をどのように評価しているのか</p> <p>④ 定住自立圏共生ビジョンの期間は概ね5年とあり、毎年度見直し変更を行うが、昨年度より期間満了時の成果指標(KPI)等の記載が義務付けられたが、事業に対する取り組み方に変化はあるか</p> <p>⑤ 毎年、年4回ほど開催されているみのかも定住自立圏構想ビジョン懇談会の目的と成果は</p> <p>⑥ 行政の枠を越えた中での事業に対する取り組みにおいて、今後は職員の合同研修や人材交流の中での連携力強化、また、外部からの専門的な人材登用等が各事業での達成感・満足感に繋がると考えるがどうか</p> <p>2 外国籍高校生の就労について</p> <p>① 一昨年前から、ハローワーク美濃加茂と多治見が、外国籍生徒向けの地元企業説明会を開催されているが、外国籍高校生の就労について、今後行政としてできる支援策は</p> <p>② 派遣労働や非正規雇用に従事し、将来に不安を抱えた外国人が多い中、今後は高卒者の採用に前向きな企業の発掘や地元企業との意見交換がより必要になってくると考えるがどうか</p> <p>3 今103号線道路整備について</p> <p>① 自治会要望で申請が出ている今103号線道路整備について、一昨年前に一度地元説明会が開催され、基本構想までの報告はあったが、これまでの経過と今後の予定は</p>
10	渡辺孝男 真摯会 (一問一答)	<p>1 本市の所有者不明土地の実態について</p> <p>① 土地の所有者がわからないため、土地の売買や利活用が進まない等、「所有者不明土地」が引き起こす問題が全国でも増えているが、市では状況等把握されているか(件数とその状況)</p> <p>② 大きな災害が発生した時、所有者不明土地があると復旧工事に支障が出る事が考えられるが、市として災害に備え、どのように対応していくのか</p> <p>③ 全ての土地に固定資産税が掛かり、名義人へ納税通知を出されているが、宛先不明で対象者へ届かない件数とその割合は。また、このようなケースで収税できない金額は単年度でどの位あるのか。併せて、毎年の件数と累計額は</p> <p>④ 収税できないケースについて、県内外に出向くなど具体的な調査等、市ではどのように収税対策を行っているのか</p> <p>⑤ 所有者不明土地問題は、今後も大きな課題となってくると考えられる。今後、土木課、農林課、税務課等、一体となって取り組みが必要と思うが、市の考えは</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
10	渡辺孝男 続き	<p>2 防犯カメラ・センサーライト設置時、補助制度創設について</p> <p>① 高齢化が進む中、より一層の安全・安心な地域づくりに加え、犯罪の抑止としての効果も期待できるセンサーライト及び防犯カメラについて、設置されるところに対して補助を設けて支援してはどうかと考えるが、市の考えは</p> <p>② 昨年、市内で強盗事件が発生し、その後犯人が逮捕された。逮捕の決め手は、防犯カメラの録画映像を積み重ねていったことによると報道されていた。今後、防犯カメラ設置について、民間業者の協力も含め、駅周辺だけでなく、他の所にも導入してはどうかと考えるが、市の考えは</p> <p>3 中之島公園の活用について</p> <p>① 中之島公園内の自然環境体験学習館（ビジターハウス）の大ホール、小ホールを、地域の自治会等団体の総会等の会場に利用するとよいと思うが、市の考えは</p>
11	渡辺義昌 創政会 (一問一答)	<p>1 選挙投票率について 先般の市長選挙に於いて投票率は、38.62%と過去最低となった。また、投票者の36.71%、有権者の14.17%と多くの方が期日前投票をしている。投票率についてと、選挙は、選挙期日、投票日に投票所において投票することを原則としているが、投票日、投票所について伺う</p> <p>① 過去最低となった今回の投票率についての所見</p> <p>② 原因は何か</p> <p>③ 年代別の投票率は</p> <p>④ 投票率向上のための活動はあるか</p> <p>⑤ 投票日、投票所についてどのように考えているか</p> <p>⑥ 投票所の指定を無くすことはできないか。（スーパーなどに投票所を作ることが出来ないか）</p> <p>2 公園の遊具について 美濃加茂市には、多くの公園がある。管理者のいる公園、大規模な公園、小さな公園や自治会の公園など様々である。公園内の遊具の管理について伺う</p> <p>① 市の管理する公園や自治会が管理している公園など何カ所ぐらいあるか。また、規模はどの様になっているか</p> <p>② 遊具の管理はどの様にされているか</p> <p>③ 自治会で管理されている遊具について、市として管理状況の把握はされているか</p> <p>④ 業者点検はどの様に行われているか</p> <p>⑤ 修繕が必要な場合の処置はどの様になっているか</p>
12	柘植宏一 新流 (一問一答)	<p>1 市長の政治姿勢について 今後4年間の伊藤市政の方向性および期待する政策施策について、市長の所感を確認するため、以下質問する。</p> <p>① 施政方針について</p> <p>I 市政方針の中で本市が直面している重要課題の一つとして少子高齢化を挙げている。少子高齢化がもたらす具体的課題についてどのように認識しているか、またその課題解決の政策の方向性はどのようなものか</p> <p>II 市政方針の中では触れられていないが、市長選挙の出陣式あるいは法定ビラの中で「自己肯定感」について言及している。なぜ自己肯定感が重要なのか、自己肯定感を高めるためにどのような政策を必要と考えているか</p> <p>② 総合計画のあり方について</p> <p>I 総合計画の役割や機能が十分果たせなくなった現状から、地方自治法改正により総合計画の策定は義務ではなくなった。地方版総合戦略や公共施設等総合管理計画を始め、各政策分野における個別計画が策定される中、個別計画の方向性を規定する「総合的な指針」の策定は意味があるかと考えるが、5次総合計画終了を控えどのような方針で臨むのか</p> <p>II 政策ごとの指標設定とともに、福祉、教育、産業振興などの事業分野ごとに、主要な成果指標（KPI）の設定が有効と考えるがどうか</p> <p>③ 事業評価と情報公開について</p> <p>I 市議会では平成28年度より議会による事業評価を実施している。これを契機にすべての事業において小事業調書が作成され、PDCAサイクルによる行政マネジメント遂行の基礎的様式が整った。議会による事業評価の取り組みについてどのように評価をしているか、またPDCAサイクルによる自律的マネジメントの現状についての認識はどうか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	柘植宏一 続き	<p>II 市政方針において「誰でもわかりやすい市政方針の発信」に言及しているが、予算関係の情報公開が遅れている。多摩市では可能な限りのさまざまな財政情報が公開されており、工事契約や委託契約についても、契約金額、契約先、契約内容などとともインターネットで公開されている。美濃加茂市の更なる情報公開の一步として、小事業調書及び委託契約情報の公開を提案するがどうか</p> <p>④ 新庁舎建設と公共施設等総合管理について</p> <p>I 新庁舎建設については平成30年度と平成31年度の2カ年でその基本計画策定を完了する予定となっている。行政施設や橋や上下水道などの多額なインフラ更新費用が必要とされる中、新庁舎建設に多額の資金を投入する状況にはない。ICTの更なる進化が予想される中、20年、30年後に必要とされる庁舎の在り方は、現在の私たちの想定を超えるのではないかと考える。</p> <p>(I つづき) 基本計画策定の中で、ICTの進化やそれに伴う分散型庁舎の可能性などを検討する機会はあるのか、公共施設等総合管理計画では新規建設はしないとの方針のなかで、屋内体育施設の拡充などの市民ニーズにどのように対応する考えか</p> <p>II 下古井交流センターについては他施設との複合化も検討課題とする答弁も過去にはあったが、除却後の予定はどうなっているか</p> <p>III また総合福祉会館の利活用拡大についてはどう考えるか</p> <p>⑤ 地域自治と自助について</p> <p>I 第5次総合計画においては策定から5年間、平成26年度までに市内全域において、まちづくり協議会を設立することが目標とされたが、現状としては10年たっても目標の完遂が無理な状況にある。設立が遅れてきた理由は何であったと認識しているのか、また、まちづくり協議会の設立、およびその積極的運営を確保するためにどのような環境整備が必要と考えているか</p> <p>II 防災、介護予防、高齢者の生活支援、子どもたちの健全育成および放課後居場所支援など、地域が果たすべき役割が増大している。今後地域住民の自助意識の更なる醸成が必要と考えるがその方策は</p>
13	金井文敏 市議会 公明党 (一問一答)	<p>1 施政方針について 伊藤市政新出発にあたり「堂々、美濃加茂。」と言われた。力強く美濃加茂市のかじ取りをするための羅針盤だ。選挙戦で市内全域をまわり、多くの市民の声を聴かれた。</p> <p>① その声をどう市政に反映するのか</p> <p>2 新年度予算について 後期基本計画の施策を具現化するための事務事業は毎年度の予算編成の指針となっている。5次総合計画は基本構想の9年目を迎える。毎年度見直される事務事業の予算編成の具体的な内容について</p> <p>① 固定資産税の申告について</p> <p>I 償却資産(ソーラー発電設備)の実態</p> <p>II 未課税対策</p> <p>② 国保制度改革について</p> <p>I 市民の影響</p> <p>③ 医療費控除について</p> <p>I 医療費通知の利用</p> <p>II セルフメディケーション税制</p> <p>④ 高齢者の日常生活支援について</p> <p>I ゴミ出し困難者の対応</p> <p>II 地域との連携について</p> <p>⑤ 学校でのインフルエンザ予防対策について</p> <p>I 今季の傾向</p> <p>II 集団予防接種</p> <p>3 生きる希望について 国の自殺総合対策推進センターでは、各市町村の自殺実態の分析・カルテ化、地域特性に応じた自治体の類型化と政策パッケージの立案の準備が進んでいる。岐阜県では、平成28年4月に施行された改正自殺対策基本法を受け、精神保健福祉センターに地域自殺対策推進センターを平成29年4月に設置し、市町村における計画策定や自殺対策の取り組み強化について技術支援を実施している。</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
13	金井文敏 続き	① わが市の自殺対策について I 自殺実態の分析・カルテの受け止め II 地域自殺対策計画の策定状況
14	片桐美良 真摯会 (一問一答)	1 教育情報化・ICT活用について ① 各学校への機器の配置状況と一台あたりの人数は ② 今後のICT環境整備目標は ③ 教職員はIT利用教育をどう捉えているか。また、今後の教職員スキルアップ計画は ④ メリット・デメリットについて 2 中之島公園について ① サウンディング型市場調査での考えは、事業展開にどう活かされるのか ② 市内産品や市内事業者の優先使用、活用は ③ キッズスペースは ④ 年間利用目標人数は 3 下水道について ① マンホール蓋を順次交換する必要があると考えるが、マンホールの数とその所見は ② 下水施設の地震対策は ③ マンホールカード発行の考えは
15	前田孝 日本共産党 美濃加茂 市議団 (一問一答)	1 市長の施政方針と新年度の重点施策について ① 少子高齢化社会への対応について人口増加につながる具体的な対策はどうか 2 美濃加茂メディカルシティ構想について ① メディカルシティ構想共同発表以後の経過進捗状況は ② 地元住民への説明はあったのか。また建設までの土地管理について市としての関与は 3 JR駅北前広場活用について ① 大手町公園の活用についてどの様に考えているか ② 駅北前ロータリーの一部利用についてはどうか 4 選挙の投票について ① 今回の市長選の投票率が低下した理由は ② 投票所や選挙掲示板の減少による影響は ③ タクシーによる投票所までの移動支援について ④ 選挙に関する相談窓口はどこか 5 災害時情報伝達体制確立事業について ① 防災ラジオの各地への貸与状況 ② 防災ラジオの放送される情報の内容は ③ 一般の行政連絡に関する放送は出来ないのか ④ 防災ラジオを全戸に貸与できないか